

令和7年度松江市青少年支援連絡会・研修会について

松江市青少年支援連絡会は相談支援機関・団体のネットワーク構築および支援にあたる人材の育成を図るため、平成22年に設立しました。

令和7年度は「松江市青少年支援連絡会」の実施、研修として「青少年支援セミナー」「事例検討会」を開催しました。



■8月6日開催「令和7年度松江市青少年支援連絡会」

令和7年度事業計画の説明及び構成機関・団体の活動についての報告、意見交換を行いました。

本会議により構成機関・団体の連携強化につなげる事ができました。



松江市青少年支援連絡会の様子

■10月20日開催「第1回松江市青少年支援セミナー」

テーマ：困難を抱えるこども・若者の

支援と関係機関の連携について

講師：ふくしと教育の実践研究所 SOLA

新崎 国広 氏

こども・若者が困難や課題を抱える背景や支援方法、関係機関の連携について学ぶ事ができました。

「学びの場」「出会いの場」「元気になる場」となる有意義なセミナーとなりました。

【参加者の方から】

- ・わかりやすく、今の時代に必要な事を明確に示してくださいました。
- ・さまざまな職種の方とお話をすることもでき、学びの多い時間となりました。
- ・課題や今後の支援の在り方について、整理できる時間でした。といった感想をいただきました。

■1月26日開催「事例検討会」

スーパーバイザー：小村臨床心理士事務所

所長 小村 俊美 氏

青少年支援センターでの対応事例について説明（支援の状況・相談の主訴等）後、スーパーバイザーを交えて関係機関・団体と支援について意見交換し、課題や解決方法について共有することで「顔の見える関係づくり」を築くことができました。

事例 「不登校で家庭環境の難しさがある方への支援について」

■2月9日開催「第2回松江市青少年支援セミナー」

演 題：不登校・ひきこもり支援と居場所

講 師：滋賀県立大学人間文化学部

准教授 原 未来 氏

居場所の役割、居場所で課題になりやすいこと、全国取り組みからみる工夫について学ぶ事ができました。

居場所について理解を深めるとともに、今後の支援につながる有意義なセミナーとなりました。

【参加者の方から】

- ・居場所のあり方と、良い事例について学ぶことができました。
- ・内容が支援中の方に合致した内容で、よかったです。
- ・改めて、居場所について考える機会になりました。といった感想をいただきました。

第1回松江市青少年支援セミナーの様子



第2回松江青少年支援セミナーの様子



松江市青少年支援センターだより

令和8年7月発行 第36号

はぐくみ

松江市青少年支援センターでは

不登校、ひきこもり、障がい、問題行動など様々な困難を抱える39歳までのこども・若者本人や家族などから相談を受け、相談者の悩みをしっかり受け止め、心の安定を図ることを大切にされた各種支援に取り組んでいます。また、必要に応じてより適した支援機関等にもおつなぎします。

白湯本町のスティックビル内、6Fフロアにあります

山崎所長
(アウトドア挑戦中)

多和指导員
(チャリ通でリフレッシュ)

勝部指導員
(音楽ライブ)

門脇指導員
(スサマジに夢中)

森指導員
(新しい体験にワクワク)

徳田指導員
(美味しいもの大好き)

多目的室

学習室

フレイルーム

ボードゲーム、手芸用品、キーボード、ダーツなどがあります

松江市青少年支援センタースタッフ紹介

所長以下5人の指導員が相談・支援にあたります。また、青少年支援センターを所管する青少年支援室が体験事業、音楽&ものづくりスタジオ（主催講座）事業に携わります。

どうぞ宜しくお願いします。

松江市青少年支援センター

〒690-0061

松江市白湯本町 43 スティックビル 6F

TEL0852-25-2583 FAX0852-20-2852

メール m.s.shien@city.matsue.lg.jp

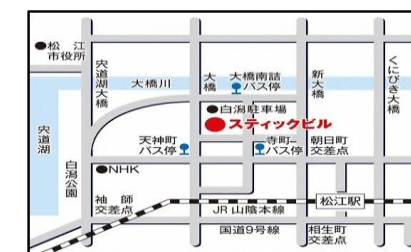
開所時間 月曜日～金曜日 午前9時から午後5時まで

休 日 土・日、祝日、年末年始

来所の予約もできます。電話にてお受けします。

相談用電話（通話無料）

0800-200-2700

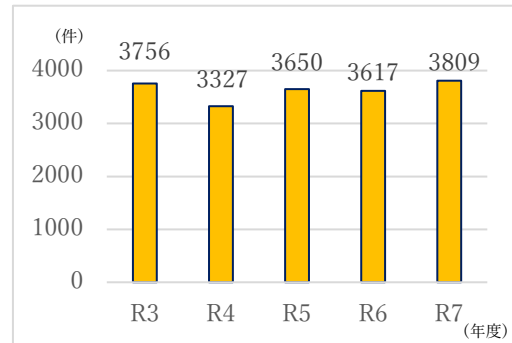


令和7年度 松江市青少年支援センターの支援状況

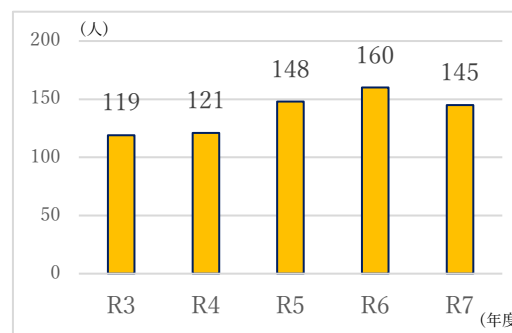
総合相談の受理(来所・電話・メール)

相談・支援件数 3,809 件
相談実数 145 人

【 相談・支援件数の推移 】



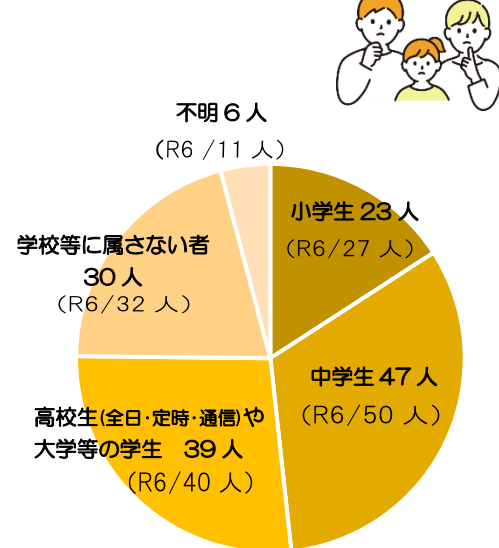
【 相談実人数の推移 】



【 相談内容 】

相談者実数	内 容	実人数
	学校問題 (不登校 65、学業進路 17、いじめ 2、その他 6)	89
	家庭問題	12
	対人・社会問題	7
	個人問題	28
	問題行動	2
	その他	7
合 計		145

【 相談実人数の内訳 】



※ 145人中、新規79人・前年度からの継続は66人でした

これまでの経過や現状をお聴きし、
今後のことを一緒に考えます

安心して過ごせる、社会とつながるきっかけとなる場を提供します（継続通所）

生活支援(居場所の提供)

8 人に対し学習支援

教科学習	}	小学生	1人
一般学習		中学生	4人
学びなおし		高校・通信	3人
レポート支援等			

69 人が居場所として利用

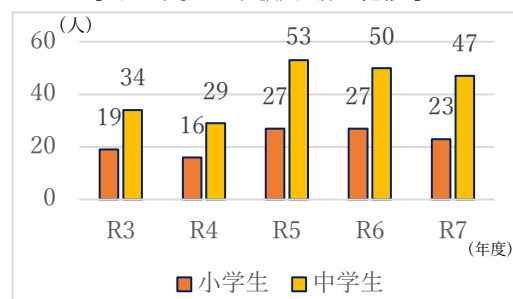
面談・雑談	}	小学生	12人
ボードゲーム		中学生	23人
ものづくり		高校・大学等学生	15人
軽スポーツ		その他 (少年・成人)	19人
各種体験活動等			

4 人に対し就労支援

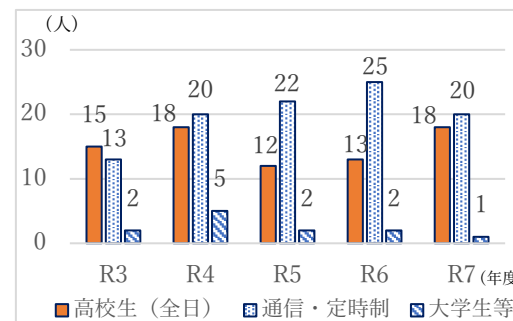
履歴書作成指導	}	中学生	3人
面接指導		高校・通信	0人
就労体験		無職者	1人
ハローワーク同行			

円滑な社会生活及び自立

【 小・中学生の相談実人数の推移 】



【 高校(全日・定時・通信制・大学生等の相談実人数の推移 】



令和7年度の相談対象者数は145名となり、前年度の160名から15名の減となりました。内訳は、小中学生の相談者が前年度の77名から70名となり、義務教育修了後の相談者前年度の72名から69名となるなど、実人数は総体的に減となりました。

一方で相談・支援件数は昨年の3,617件から3,809件と192件の増となり、一人当たりの相談支援件数の増加がうかがえます。

対応にあたっては、悩みや不安を受け止め、心の安定を図ることを最優先にしています。1対1での対応を基本として、ゆっくり話をするほか、ボードゲームや卓球、音楽&ものづくりスタジオでの講座や、所外での各種活動を通じて元気の回復を目指しています。

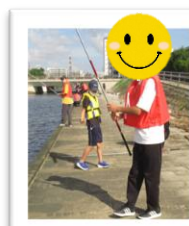
また希望する者に対し、教科や学びなおし等の学習支援や就労に向けた各種支援を行いました。

体験活動

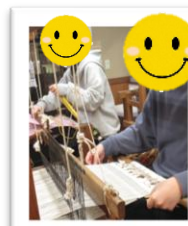
所外での体験活動も企画・実施しました。



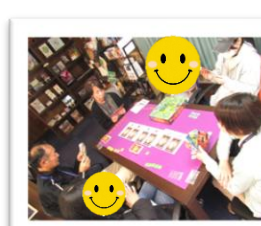
【 陶芸体験 6月 】



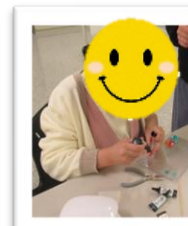
【 ごす釣り 10月 】



【 機織り 11月 】



【 ボードゲーム 12月 】



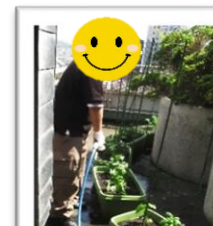
【 レジン 1月 】



【 和菓子づくり 3月 】

野菜づくり体験

6F ベランダで、プランターを使った野菜作りをしました。種まき・水やり・収穫と、みんなで協力して行いました。



就労体験

就労をめざす若者に各事業所の協力をいただき、就労体験の機会を提供しました。



音楽&ものづくりスタジオ（主催講座）

【音楽スタジオ 3講座】

- ・ドラム講座
- ・ピアノ講座
- ・ボーカル講座



【ものづくりスタジオ 3講座】

- ・レザークラフト講座
- ・クッキング講座
- ・軽スポーツ講座



STICビル内にある音楽スタジオ（1F）・ものづくりスタジオ（5F）を活用し、各種主催講座を開催しました。

～体験者の声～

- ・だんだん叩けるようになってとても楽しい。（ドラム講座）
- ・大きな声で歌えるようになってきた。高いキーの曲にも挑戦してみたい。（ボーカル講座）
- ・お菓子作りは難しいけど、自分で作ったのはとても美味しい。（クッキング講座）
- ・体を使っていい汗かいてます。（軽スポーツ講座）
- ・革を切ったり縫ったり難しいけど、自分の好きな色や形の小物が作れておもしろい。（レザークラフト講座）